

謹んで新春のお慶びを申し上げます



勢い良く燃え上がる「どんどや」(須恵 中島親水公園)

# あさぎり 議会だより

第6号

平成17年  
2月3日発行

町民の声	委員会の活動	議会の動き	一般質問	補正予算	十二月定例会
14P	13P	12P 13P	6P 11P	5P	2P 3P

## 主な内容



無病息災を願って餅を焼く子供達



# 条例を可決

## 十二月定例会

平成十六年第四回定例会は十二月十四日から十七日までの四日間の日程で開催されました。

一般質問では十二人が登壇し、保育所、小・中学校の統廃合と給食センターの建設、商店街の活性化を図るための具体的な取り組みなどについて町長の考えを質しました。

情報公開条例の制定、後期過疎地域自立促進市町村計画や、一般会計ほか四会計補正予算など、上程された十一議案すべてを原案通り可決しました。また十七年度地方交付税所要総額の確保に関する意見書を関係各庁に提出しました。

第四回臨時議会（十一月四日）において、三位一体改革案に対する意見書を提出しました。

一、地方の個性を生かした自立ある発展をすすめるために、地方の自主性を高め、拡大する改革となるよう税源移譲に結びつく改革本来の趣旨に沿って、三位一体改革を進めること。  
二、安全・安心な地域社会の構築に支障を及ぼしたり、

地域間不均衡を生じたりすることのないよう、治山治水事業に関する国庫補助負担金制度の堅持を図ること。

三、治山治水事業は、突然発生する水害、土砂災害の発生に即時対応して機動的、集中的に事業が実施されるべきものであり、このような事業の配分が可能な国庫補助負担金制度の堅持を図ること。

## 年頭のあいさつ

議長 尾方 球三郎



町民の皆様方には心新たに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は「災い」が大変多い年でありましたので、今年は輝かしい年であって欲しいものと願っております。

私たち議員も、正月行事であります成人式や消防団出初め式への出席をして、すでに活動を始めております。

昨年は、議会改選後、三回の定例議会において延べ三十四人の議員が登壇し、行財政全般について七十件余りの一般質問を行っております。

三位一体等の改革により、合併したばかりのあさぎり町の財政も厳しさを増しております。

ますが、本議会といたしましては自治法に則り「最小の経費による最大の効果」を遵守し、政策の決定、行財政運営の監視の責務を全うする所存でございます。

国は七百兆円を越す国債を抱え三位一体の改革を唱えています。本町に地方に沿った改革が実現される事を願っております。

町でも国の指針に沿って、既に昨年五月の臨時議会において地方税法の改正に伴い町税条例の改正がなされました。老年者控除の廃止、公的年金控除額の引き下げ、所得税の特別減税の段階的廃止等、国民には厳しさが増す国策がみえております。

地方分権に即応しながら、将来が見える町づくりが急務だと思っております。一人でも多くの町民皆様方の傍聴を御願い申し上げ年頭の御挨拶と致します。

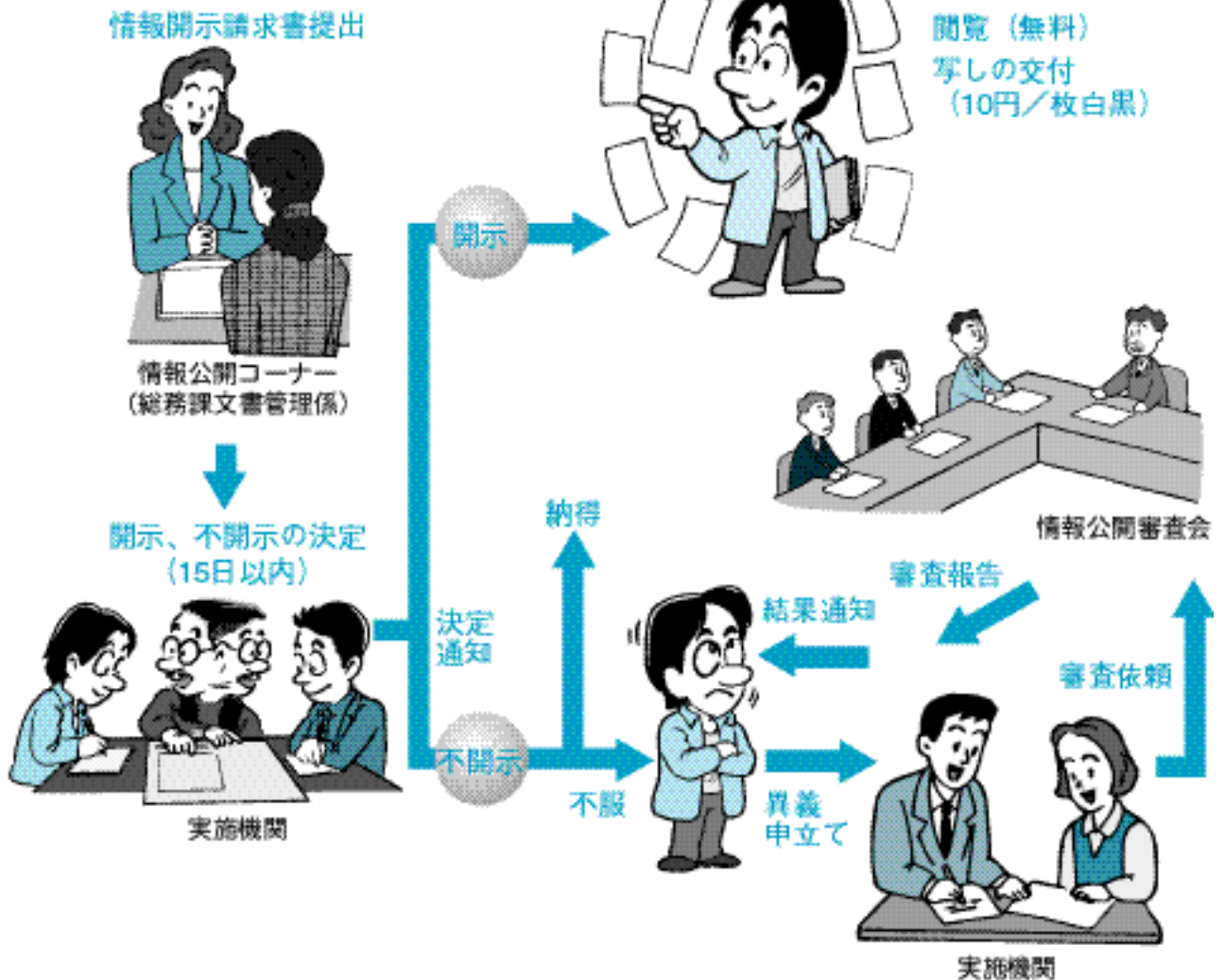
# 情報公開

開かれた町政を  
めざして

町民のみなさんは、町が持っている情報（文書・図画・写真・フィルム・テープ及び電磁的媒体に記録されたもの）の公開を請求することができます。町は、請求があった情報のうち、個人のプライバシーを侵害するおそれのあるもの、法律などで非公開とされているものなどを除き、原則として全ての情報を公開して「情報公開制度」です。

この制度によって、町政の主権者である住民の方々に町の仕事の内容をよく理解いただき、町づくりへの参加を促進して民主的な町政の発展に資することを目的としております。

## 情報公開制度のしくみ



# 五年間の計画まどまる!

## 過疎地域自立促進計画を可決

旧免田町を除く旧四村は、過去に過疎地域の指定を受けていた。指定を受けると過疎債を使った事業は、起債の七割を国が交付税で補填するという有利な条件であり、旧四村の大型プロジェクトはこの制度の活用が多くみられた。

旧四村は、それぞれ過疎地域自立促進特別措置法の規定にそって、平成十二年度から十六年度までの五年間の前期過疎地域自立促進計画をたてていたが、あさぎり町も引き続き同指定を受けることになり、今回、十七年度から二十一年度までの後期過疎地域自立促進計画をたてたものである。

五年間の町の方針を決める大切な計画であり、その内容をめぐって白熱した議論もあったが、あくまでも計画であり執行にあたっては個別に見直しもあり得ることを確認して、結果的には原案どおり可決した。

内容は、「基本的な事項」で あさぎり町の概況、人口及び産業の推移と動向、行財政の状況、地域の自立促進の基本方針、計画期間、について述べた後、「産業の振興」、「交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進」、「医療の確保」、「教育の振興」、「地域文化の振興等」、「集落の整備」、「その他地域の自立促進に関し必要な事項」についての各項目で、それぞれ 現状と問題点、その対策、計画について詳細に記されている。

なお、この計画の総事業費は、約百五十四億三千万円に及んでいるが、全てが過疎債を使った事業ではない。

## 人権擁護委員の推薦について（適任）

野口 辰紘さん 免田東二八二〇 四六（吉井）

## 調査特別委員会を設置

本会議最終日に、「ケーブルテレビ及び防災行政無線整備事業に関する調査特別委員会」を設置する議員発議が出され原案どおり可決した。

委員は全議員22名。

直後に第1回の特別委員会を開き、松本光弘議員を委員長に溝口峰男議員を副委員長に選任した。

## 工事請負変更契約を承認

森園カントリーパーク整備事業で、台風に伴う大雨によって工事現場で崩落があり追加工事が必要になったことにより、工事請負契約を変更する提案がなされたもので、8,116万5千円に220万494円を追加し、8,336万5,494円とする案件が承認された。

なお、この工事では、森園カントリーパークにナイター照明施設や管理棟、周回のジョギングロードのゴムチップ舗装などの建設を行っている。



# 災害復旧費などに 1億547万円を追加

## 一般会計補正予算

平成十六年度一般会計補正予算(第六号)は、一億五四七万二千円を追加し、総額一〇九億七七四万六千円とする議案が提出され原案どおり可決された。

### 総務費

深田庁舎取り壊しの工事請負費三三〇万円を減額

(深田地区地域審議会の答申を受け、深田庁舎取り壊しの設計委託をしたが、当初予算では大幅に不足したため、来年度事業に回すことになった)

電子計算費で備品購入費八八二万七千円を含む二二五万二千円を減額  
財政調整基金積立金として七一八万五千円

### 民生費

福祉乗り合いタクシー補助金として一六〇万円  
(利用者が当初見込みより少ないため)

ヘルシールアンド管理運営委託料として三三万四千円  
(燃料の重油値上げ等により)

### 衛生費

出生祝い金として三〇〇万円

(予測以上に新生児の出生が見込まれるため)  
乳幼児医療費給付金として三五〇万円

### 農林水産業費

園芸産地活力強化対策事業費として五五四万三千元  
(台風で被害を受けた強化ハウス復旧のための当該農家への補助事業)

### 土木費

補償費として九〇〇万円  
(吉井・下道線改良工事に伴う移転補償費)

### 教育費

奨学金繰出金として二七万八千円(利息分)  
幼稚園就園奨励費補助金二二〇万円減額

青年団補助金として三三万円  
ボーイスカウト補助金として三三万一千円

## 災害復旧費

林道施設災害復旧費  
工事請負費として六〇〇万円  
農地等災害復旧費  
工事請負費として一一三三万四千円

道路橋梁災害復旧費  
工事請負費として一〇三三万七千円  
河川災害復旧費  
工事請負費として一〇七五万九千円



屋根が壊れたままの  
高山頂上展望台

## 特別会計補正予算

**国民健康保険**  
今年度一五一名の出生が見込まれるため、出生育児一時金三六〇万円を含む三七四万円を追加し、一八億四八五二万七千円とした。

**簡易水道事業**  
溝下線改良工事に伴う敷設替工事費四六〇万円など一〇四〇万円を追加し、四億二六三万四千円とした。

**水道事業**  
配水管修繕用材料費九五万四千円と配水管敷設替工事請負費一五〇万円を追加した。

**下水道事業**  
測量設計業務委託料一八五〇万円と工事請負費の単独分一〇〇万円を減額し、工事請負費補助分一七〇〇万円を追加した。

## 保育所、小中学校の統廃合と給食センターの建設について

小学校については統廃合の諮問はなされていない



奥田 公人議員

**問** 保育所の統合や民営化は

出来る範囲から推進を図るべきだが、**小学校は、是非現在のままで残し、小学校区として、旧町村の伝統や文化を継承し、人情豊かな伸び伸びとした人材育成の場であってほしいし、地区の要になるべきと思う。中学校については、一校方式と二校方式のいずれを選択されるのか、十分な審議と慎重な対応が必要。**又給食センター建設については、学校規模等適正化審議会の答申を尊重すべきと思うが、**町長の考えは。**

**町長** 保育所の統廃合や民

営化については、職員の問題や施設の問題があり、保護者との関係を解決しながら取り組んでいく。小学校については、徒歩通学などで、統合するのは困難との認識を持っている。

**教育長** 中学校は、小規模化により専門教科の教員配置が困難で教育水準の維持向上と学校経営の合理化が大きな課題。小学校は校区における文化的精神的よりどころとして、**地域の振興に欠かせない存在意義が大きく、統廃合に関する諮問はなされていない。**給食センターは老朽化しており、早期に統廃合して、新たに「あさぎり町学校給食センター」を、文部科学省が示す給食施設の基準に沿って、三年以内をめどに早期完成に努めたい。

ケーブルテレビ導入の優先順位と現況について

**問** あさぎり町にケーブルテレビのシステムをどれだけの住民が必要としているのか、アンケート調査なども行った上で取り組むべき。仮にケーブルテレビを導入するとしても、**防災行政無線は絶対に残**

すべきと考えるが、町長の考えは。

**町長** まだ基本設計の途中であり、もう少し煮詰まった時点で議会の方へも報告したいが、情報基盤整備を行う上で必要。二十億円以内で出来るような施設で計画をお願いしている。

## 商店街の活性化を図るための取組みは

まずは気運の醸成の手助けから



田原 健一議員

**問** 駅前を中心とした商店街

の活性化を図るため、TMO（町づくりの為の機関）の設立、道路整備、駐車場整備、各種イベント広場の整備、空き店舗の活用、具体的な取り組みの現状は。

**町長** 旧免田町で策定した中心市街地活性化推進基本計

画、また商工会で策定したTMO構想は経済不況に加え、店主の人達の気持ちの醸成ができなかったというさまざまな要因により、計画どおり進んでいないのが現状である。

TMOの設立は現時点ではなかなか難しく、実現化のもととなる組織づくりが必要と考える。

道路の整備については国道沿線、駅前交差点及び金子パシオン屋さん角の交差点を改良することにより、通勤時の渋滞

解消や買い物に来やすくなるということから県、国に要望している。

駐車場の整備については現在の駐車場に加え、ポツポツ館から線路を越えるような歩道を付けることにより、北側の町有地が駐車場として活用できるので検討したい。

イベント用広場の整備については基本計画ではマルキヤ跡地から西側地域の整備がうたわれているが、具体的な取得目的が立たない現時点では実施されていない。TMO構想が具体的に動き出すと、買収あるいは借り受けということが発生してくると思う。

空き店舗の活用についてはTMOが設立されていない現段階では、国の補助事業による空き店舗対策に取り組みながら、町単独の補助事業として取り組んでいきたい。

**問** 町長就任直後の施政方針で述べられた中心市街地活性化推進委員会を立ち上げて、行政と商工会をそして事業者、地域の住民の人達と心をつなげて、あさぎり町みんなが憩えるような商店街ができるようにお願い願う。

## 三位一体改革について

### 具体的な数字は示されていない

宮原 盛幸議員



**問** 地方交付税の減額で、将来の財政計画の変更が迫られるのは必至で、また町の総合計画を見直す必要があるのではないか。

**企画財政課長** 今年度末で行財政プランを示す予定。その中で財政計画を示したい。実施計画の中で策定したい。

**岡原水道水の安全性について**  
**問** 第一水源池の水はアンモニウムが検出され、それを中和するための処理をしたが、カルシウムの濃度は変わらず安全性に問題はないが加熱するとカルシウム分が固まる現象が出てきた。旧岡原時代に希硫酸を投入するという案もあったが、住民の皆様の不安もあり現在に至った。ところで今回のイオン交換法は安全なのか。何の水を処理するのにどれくらいの塩化ナトリウムが必要なのか。その処理により、どのような化学反応があり、どのような化学反応式にな

**問** 地方自治体にとって問題なのは各種補助金の削減と地方交付税の減額である。あさぎり町では補助金の削減ほどの位か。また税源の移譲、地方交付税の減額は幾らぐらいか。そして、それをどのように位置づけ、どのように対応されるのか。具体的にどのような数字が国から示されているのか。差し迫る平成十七年度予算をどのように組立てられるのか。

**町長** 地方交付税も補助金も減らされたが、それに伴う税源の移譲はほとんどない。

**企画財政課長** 具体的な数字を国から示されていない。新聞記事等で報道される内容を知っているのみ。

るのか。

**水道課長** イオン交換法の軟水装置は全国三〇〇余カ所（食品会社等も含む）使用されており安全性には欠けていないと思う。化学反応式については、早急に調査して報告する。

**問** 化学的に頼るばかりではなく物理的に解決できないのか。岡本谷と宮原谷の標高差を利用してサイフォンで混水し、カルシウム分の少ない水道水として再配分するとか。

**水道課長** 今後検討したい。

### 合併後の固定資産税は？

#### 十八年まで現状のまま

淵田 勇一議員



**問** 評価が違つと誤課税が生じる。適正な課税を望む。

**ケーブルテレビ基本設計**  
**問** C A T Vの基本設計発注の経緯を尋ねる。

**町長** 株式会社日本通信システムに委託発注した。

**企画財政課長** 業者選定は九州圏内に事業実績を有する会社を基本に防災告知放送、テレビ映像システム、議会等の放送、公共機関ネット、情報伝達システム及びインターネット接続可能を構築した総事業費二十億円以内で設計を依頼、当社は坂本村で実績があり、事業費の見込み額も安価であ

**問** 旧町村の固定資産評価が異なっていたが、合併後その取り扱いは。

**町長** 公平公正を守り三年毎の評価替えを行っていく。

**税務課長** 評価額の差を県と協議したが不調。十八年一月の評価替えまでは現状のまま。

**問** 地価下落等現況に促した評価の再調査の考えは。

**税務課長** 類似区分を全町一本化し、水田五段階、畑、山林を三段階に考えている。

った。

**問** 事前に住民へ理解を求める考えはないか。又個人負担と電話料はどのようになるか。

**町長** 住民に知っていたたく機会をつくっていきたい。

**企画財政課長** 設置負担は検討課題。利用負担は月額二丁三千円電話料はN T T分は有料、I P回線分が格安となる。

**問** 個人負担やデジタル化、財政問題等でC A T Vは不要の声があるが。

**町長** デジタルを先に組み込むのも策。

**企画財政課長** 基本的に補助率1/3残りの九五%合併特例債充当

**問** 議会に調査のため特別委員会設置を希望したい。

**中山間地域直接支払制度交付金の使われ方は適正か。**

**問** 同制度で協定集落への支給率を交付額の五〇%、五〇%、一〇〇%と不平等な差をつけたのはなぜか。又、監査の結果は。

**町長** 五〇%以上を集落で使うことが出来る。あとは地区の協議で使用している。

**農業振興課長** 監査は担当課で行つて内容は適正を確認した。



## 職員定数と委託料の将来の方向は

### 十年をめどに適正な定数に



橋爪 和彦議員

**問** 地方分権の進展や高齢化の進行等で、役場事務の増加が予想されるが、人件費は抑制を図らねばならない。職員定数と委託料の将来の方向は。

**町長** 十年後をめどに適正な職員定数に近づけるべく、適正化年度別計画を立てた。民間委託は地元人材を雇用する。

**問** 年間十億円に達する委託料を、これ以上増やさないと、めにも、各分野に専門的な知識を持った職員を養成すべきだ。その為には、職員採用の2次試験では資格を持った人を優先採用し、現職は仕事に関する特技や資格取得者に手当てを出し意欲を持たせては。

**町長** 2次試験は人物重視でいく。手当ては出せないが人

事評価システムを導入する。

**問** 人事評価システムは、将来の能力給の導入に繋げて貰いたいし、異動は職員の専門知識を生かし育てることを念頭において行ってもらいたい。

**昆沙門天像の国指定は**

**問** 荒茂昆沙門堂蔵の県指定重要文化財の8体の仏像は、全て平安から鎌倉時代作で古く痛みが目立つ。修理の予定は。

**教育長** 県と協議して、平成十八年度から順次修理したい。半額の県補助がある。

**問2** 本尊の昆沙門天は、県内の木造仏像で最も大きくて3番目に古いことが判つた。古塔碑群も西日本最大級といわれる。国指定へ向けての働きかけは。

**教育長** 前向きに検討する。

**問3** 昆沙門堂は本来仁王門であり、室町の様式を残す貴重なもの。元の仁王門に修復

し、残る6体を収める収蔵庫の建設も望む。

**教育長** 財政担当と協議しながら検討する。

**問4** 荒茂地区は、全体が県指定級の史跡。拠点を結ぶ遊歩道の建設が必要だと思うが。

**教育長** 遊歩道を整備すれば

素晴らしい所になると思う。

**問5** 昆沙門天は文化財として勝負の神様として信仰を集め、現在も参拝者や見学者が多い。公衆トイレの建設予定は。

**教育長** 場所規模等を地元と協議しながら検討していく。

## 小規模事業者の支援策について

### 現在、希望者登録要項の検討を進めている



中村 嘉夫議員

**問** 町の入札参加資格を持たない、小規模個人業者の方にも工事現場近くの仕事を優先したりして、満遍なく、町発注の事業を受注出来る様な、契約希望者登録制度は出来な

**町長** 町としては工事を発注する以上は、きちんとした仕

事をして貰い、それを確認する業務がある。確かに通常の工事の資格審査基準は、厳しいものがある。小規模な工事修繕等は、見積もりをして随意契約により施工している。町内経済の活性化を図る意味からも、現在希望者登録要項の検討を進めている。

金額的に言えば、大体三十万円以下のものを対象にしたらと、考えている。出来れば来年の4月からでも実施出来れば良いと思う。

## 退職時特別昇給制度について

**問** 人事院は国家公務員の退職時特別昇給を、五月一日から廃止し、全国の自治体にも廃止を求め、地方自治体でも廃止に向けた議論が進んでいるが、あさぎり町では。

**町長** 国においては廃止、熊本県でも廃止の方向。熊本市でも住民の理解が得られないという形で、廃止の方向で検討されている。あさぎり町においては、やはり住民の皆さん方が考えられることは一緒に、理解が得られないと思いで、廃止の方向で検討していきたいと思う。しかし、あさぎり町においては、現在職員数が多いので、定数削減を図るためにも、勧奨制度については残すこともある。



## 新・食料・農業・農村基本計画の策定に向け町の対策は

J A、あるいは関係機関一体となつて対策を進めていきたい



小見田和行議員

**問** 二〇〇五年春に策定される新・食料農業・農村基本計画の中間論点が、二〇〇四年八月に出された。日本農業の今後に重大な影響を与える施策提案も含まれるだけに、策定前より注目し、対応策を講じる必要性を痛感している。柱となるのは、担い手政策、経営安定政策、農地制度、農業環境、資源保全政策である。約3兆円の限られた農業予算を有効活用するために、対象者を「担い手」に明確に絞つたうえで、施策を集中的重点的に実施されることも予想さ

れる。

担い手となる要件も、従来よりハードルが高く、これに漏れる農家の発生が当あさざり町でも懸念される。対応策として集落営農の組織化、法人化、受託組織などのサービ

ス事業体の育成を行い、小規模な農家も「担い手」として要件を満たす手だてができないか考える。新町建設計画にある「農業センター」設置で、高齢化していく農業と、新農業基本計画に対応可能と思つが、町長の考えは。

の対応を、展開できると思う。  
**問** 集落営農も、国の考えでは法人化を前提としている。それをどう育成していくつもりか。

も含めながら検討していきたい。ただ、農家自身もみずからの問題として対応を検討するとともに、行政としては農業センターを早急に立ち上げ、論議できる組織体をつつていきたい。

## 各地域のゾーニングについて

意義を考えながら進める



久保田久男議員

**問** 各地域のゾーニングがなかなか見えてこないが、新年度において具体的にどのよう

**問** 須恵地区の場合、文化学習ゾーンとして位置付けられているが、文化ホールの自主文化事業の予算は昨年の半分以上であった。予算が全てと言えないが、人づくりは町づくりの基本を、町民が心豊かな生活ができる生涯学習の場として文化ホールの活用を。又、運営が大変きびしくなっているゆめさき大学への支援と、支所跡を利用したエンブリー資料館の設置はできないか。

に苦慮した。財政的に少しでも好転してきたら、力を入れていかなければならないと考える。ゆめさき大学については、会員数を増やすことで支援していく。エンブリー資料館は私は決して悪くないと思う。

**問** 計画の中の重点政策として、四つの戦略プロジェクトに掲げてあるグリーンツーリズム事業について、町の考えと今後の取り組みは。

**町長** 先進事例を学びながら、住民のやる気を喚起しようということでも事業を行つている。できれば商工観光課にグリーンツーリズム推進係をおく考えを持っている。

**問** 大分県の安心院町では、全国で初めて係を設置して、全国的に有名であり、グリーンツーリズムによる町づくりが展開されている。あさざり町でも民間による、研究会の立ち上げが予定されており、町としてのバックアップは。

**町長** 民泊のような取り組みやすい形でのスタートが望ましいと思う。町としても十分支援体制をとつていきたいと思つている。

「あさぎり教育の日」制定について

校長会を初め関係機関と協議をも検討したい



溝口 峰男議員

置く様に見直しを図る考えはないか。

**町長** 本来ふるさと振興社が行うべき事業に重点を置き、見直すべきものは見直しして、町で生産される物の販売体制の強化をしていく。

**問3** 十七年度ほどの様な特産品開発をするのか。また白髪岳の水の商品化は合併以前から検討を加えられているが、具体的取り組みは。

**町長** 今年商品化した豆乳をペットボトルからビニールパックに容器を変更し、更なる売り上げ増に十七年度は力を入れていきたい。白髪岳の水は大変良質であり、あるメーカーからも問い合わせがまっているので、振興社の商品として開発をしていきたい。

**問2** ふるさと振興社の事業内容にあるピハ公園や墓地公園の管理をシルバー人材センターに委託するなどし、経済効果の上る様な事業に重点を

**問** 商工業育成のため請負代金の前渡しを四割に復活を  
請負代金の前渡しが三割

から二割となり、業者の資金繰りも大変厳しい状況にある。業界育成のため、条例で定められている四割にできないか。

ら資金繰りをしている現状であるが、新年度においては、町長の政策的な判断によることもありますが、取り扱いについて検討したい。

**企画財政課長** 町の財政も大変厳しく、一時借入をしなが

伊賀川の水害対策について

いろんな検討を加えて取り組む必要がある



田原 茂久議員

**問** 八月三十日の台風十六号による大雨で伊賀川が氾濫し川瀬地区では、床下浸水の被害があった家がある。地元住民から水害対策についての要望書が出ていたと思うが、国土交通省までつなげて頂いたのか。またあさぎり町で水害対策を実施して頂けるのか。

**町長** 建設課で内容を検討し要望書は出してないが

げている。対策の方法としては、工事等の排土を町の方で提供し地上げをしたり、宅地内に浸水しないように堤を作

り、雨水や入って来た水は消防ポンプ等で排水する。

**建設課長** 人吉市では三十一の樋管があり、すべてにポンプを設置している。堤内水の処理については各自治体に責任があり、あさぎり町が責任を持って対策をする。

**問** 伊賀川から川瀬橋までの堤防敷の公園化の計画があると聞かすが、住民の要望は伊賀川の流れを良くする

為、公園は廃止して堤防敷の土を除去してほしいとの事だが。

**町長** 旧須恵村で公園計画があったが、維持管理、活用状況を検討し平成十五年度で工事終了。今後そのような要望であれば国土交通省と協議し着工も可能である。

**問** 伊賀川の樋管が小さいので水の引きが悪い。樋管をもう一つ増設したら水の引きが良くなると思うが、町の考えは。

**町長** 球磨川の水位に合わせて、伊賀川の水位も連動して動くので樋管を増設しても、解決できるとは考えられない。

**問** 上流の中島地区の樋管は増水のたびに閉められている。その為、堤防添いの水田を洗い流しながら伊賀川に流れ込んでいく。閉められた後の対策を考えてほしいが。

**建設課長** 樋管を閉め切った為に生じる内水面の氾濫については、当然自治体が責任を持ってポンプアップする事になるかと思う。流量調査等の算定をし対応したい。



## 長期財政計画は

### 三月いっぱいには作成予定



松本 光弘議員

**問** 補助金がらみの基幹的な公共事業は終わったととらえるか、我が町はまだどんな公共事業をやるんだと考えるかで、町の政策及び財政計画は大きく変わる。そこで、長期財政計画のないあさぎり町は羅針盤のない船が太平洋に浮かんでいる様なものと考えるが。

**企画財政課長** 長期財政計画については、三月いっぱいにと予定している。

**問** 我が町は、長期財政計画なしで基本構想、基本計画が出来ているが不思議でならない。財政計画より早くできた町の基本計画を町長はどのように受け止めるのか。

**町長** 確かに耳の痛いところだ。総合計画は、町が今後取り組みたい所を入れておく為に膨らした形の計画になった。財政に

応じて基本計画、実施計画で減らして行く。三位一体の改革が始まってから財政問題が非常に難しい。合併特例債の総運用額は二五億円で、五ヶ年に集中して運用を計画されていたが、慎重に運用している。

**問** 交付金が六五億円の計画だったのが四五億円になった現在では、合併特例債の運用は消えたと考えるべきだ。長野県の栄村では長期財政計画を三通り計画してある。我が町では五通り位の計画が必要と考える。本当に厳しい財政計画から普通の財政計画と必要だ。一通りの財政計画では駄目だ。

**町長** 合併特例債の運用状況は、十五年度で二千万円、

十六年度で二億四千万円程度だ。健全財政を保つために、運用に対しては慎重に行っている。

**障害者福祉の推進について**

**問** 総合的な支援体制の整備で専門的な職員や相談員等の

育成確保に取り組む計画になっているが実施しているか。  
**福祉課長** まだ実施していない。地域福祉総合計画を二年間で作成中である。  
計画を本来の三月までには作り上げ、必要な事はしたい。

## 観光振興について

### 人吉、球磨連携し進める



岩水 国昭議員

**問** あさぎり町は大自然に恵まれ、いろんな農産物ができている。また貴重な史跡、豊富な文化財に恵まれた地域である。これらの資源を活用し、観光振興を図り、地域活性化すべきかと思うが、本町の具体的な取り組みについて伺いたい。

**町長** 各種パンフレット等を

作成し、観光案内所及びメディアに配付しPRしている。

**ホームページ**を作り全国に発信している。今後人吉、球磨を一体化し、連携した広域的な視点に立った観光振興を進めていく。

財政問題も絡んでくるので、慎重に検討し進めていきたい。

**教育長** 国選択一件、指定二件、県指定十件、町指定百三十七件の文化財がある。  
**生涯学習課長** 県指定の文化十ヶ所の内五ヶ所、町指

定三十ヶ所は整備済み。相良三十三観音中、上手観音、永峰観音は未整備。

**問** 駐車場が無く、道路に車を止め参拝されていて、交通安全上危険だと思つが、整備はいかに。

**高齢総合課長** 駐車場についても用地確保が難しく、財政的にも厳しく、各課連携を保ちながら慎重に進めていく。

**問** 観光案内人の人材育成も必要と思つが。

**町長** 計画はないが、かわりに史跡等の説明案内板をつくる。

**生涯学習課長** 十六年度で文化財案内板を四ヶ所に設置するし、年次的に進めていきたい。

# うごき！！

## 議会活動報告

- 9月
- 9/28 球磨畜産共進会（球磨家畜市場）  
川辺川問題に関する行政、議会間の協議会（球磨地域振興局）
  - 9/30～10/1 球磨郡議事会管内主軸事業要望上京  
（総務、国土交通、農林水産、厚生労働各省庁及び県内選出国會議員等）
- 10月
- 10/4 町村議会常任委員長及び議会運営委員長研修会  
（熊本産業文化会館、講演「政局展望」講師 読売新聞編集委員 橋本五郎氏）
  - 10/4 城南四郡正副議長会総会（熊本交通センター）
  - 10/6 北海道紋別郡町村議会議長会視察研修対応（本庁舎会議室）
  - 10/12 球磨郡町村議会議長会10月定例会（人吉市「総合福祉センター」）
  - 10/15 総務文教常任委員会（人吉市及び多良木町の給食センター視察）（次頁参照）
  - 10/19 熊本県町村議會議員研修会（熊本市民会館、講演「今後の国際情勢と日本の展望」  
拓殖大学国際開発学部教授 森本 敏氏）
  - 10/23 球磨村合併50周年記念式典（球磨村多目的交流施設）
  - 10/23～24あさぎり夢まつり（町総合グラウンド）
  - 10/28 北海道女満別町議会視察研修対応（議員控室）
  - 11/1 宮崎県都農町議会視察研修対応（議員控室）
  - 11/4 佐賀県七山村議会運営委員会視察研修対応（本庁舎会議室）
  - 11/5 厚生常任委員会（次項参照）  
町内私立保育園の視察研修
  - 11/10 栃木県塩谷町議会視察研修対応（本庁舎会議室）
  - 11/12 球磨郡町村議会議長会11月定例会（錦町役場）  
福岡県山川町議会視察研修対応（本庁舎会議室）
  - 11/17～25全国議長大会並びに海外行政視察（議長 オーストラリア、ニュージーランド視察訪問）
  - 11/26 厚生常任委員会（次項参照）  
町内私立保育園並びに公立保育園の視察研修
  - 11/29 井上橋改築落成式典（井上橋）
- 12月
- 12/5 あさぎり町福祉まつり（須恵文化ホール）
  - 12/9 正副議長・議会事務局職員合同会議（人吉市総合福祉センター）  
講演「期待される議会像を目指して」前鹿児島県町村議会議長会事務局長 池田正夫氏）

### 球磨郡町村議会議長海外視察研修に参加して

議長 尾方球三郎

11月18日から25日まで郡議事会海外研修が行われ、オーストラリア、とニュージーランドを視察研修した。オーストラリアでは3,400頭の乳牛を飼育している酪農家の視察、そのスケールの大きさに驚いた。20日から23日までニュージーランド各地を視察、行政機関の助言を受け、産業、教育、福祉等を研修した。変化に富んだニュージーランドは美しい自然を持つ国で素晴らしい。百聞は一見に如かず。世界の流れの中に日本を見る良い機会でもあった。





# 議 会 の

## 一部事務組合議会報告

### (人吉球磨広域行政組合議会)

平成16年11月12日(金) AM10:00

平成16年第3回臨時会 カルチャーパレス第2会議室

汚泥再生処理センター建設に係る 調査特別委員会の設置について

平成16年12月6日(月) AM10:00

平成16年第2回定例会 カルチャーパレス第2会議室

認定第1号 平成15年度人吉球磨広域行政組合一般会計歳入歳出決算の認定について(他8件)

平成16年12月22日(水) AM10:00

平成16年第2回定例会 カルチャーパレス第2会議室

認定第1号 平成15年度人吉球磨広域行政組合一般会計歳入歳出決算の認定について(他3件)

### (公立多良木病院組合議会)

平成16年12月7日(火) PM2:00

平成16年第4回定例会

議案第22号 病棟増改築及び診療棟改修計画の基本方針について(他4件)

### (上球磨消防組合議会)

平成16年12月8日(水) PM3:00

平成16年第2回定例会 上球磨消防署会議室

議案第16号 平成16年度上球磨消防組合一般会計歳入歳出補正予算(第2号)について(他4件)

## 委員会活動

### 総務文教常任委員会

平成十六年十月十五日総務文教常任委員会を開催し次の件を調査研修した。

給食センターの運営について、人吉市学校給食センタ

ー並びに多良木町学校給食センターを視察研修した。

あさぎり町の給食センター施設が老朽化し、建て直し

の必要がでてきた事で、担当者等と会談し現場の声を聞

き、センター方式は適当か運営面を含めて研修した。

また、ケーブルテレビと防災無線に関しての内容につ

いて有識者から説明を受けた。

### 厚生常任委員会

平成十六年十一月五日、厚

生常任委員会は免田地区の三

保育園と、深田地区一保育園、

並びに十一月二十六日に二つ

の私立保育園、四つの公立保

育所を視察した。

常任委員は各園の園長や所

長と会談し、各園に於いては、

台風の被害状況や園への交付

金措置の改正により運営が厳

しい状況にあるとの説明があ

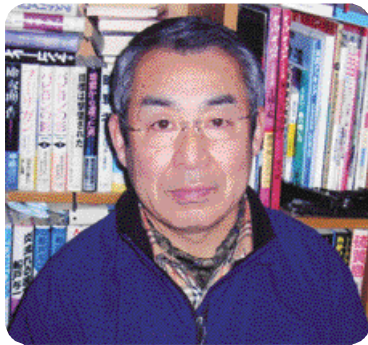
った。



# 議会に思う事

岡原南 石塚 哲哉

## 町民の声



合併後満二年を迎えようとしている今、あさぎり町誕生によりどの様な形で効果が表示されているのかを知りたいものです。よく聞こえてくるのはデメリットの話ばかりで合併して少しは良くなったという様な明るいニュースがまだあまり聞こえて来ません。今、私達を取り巻く情勢は毎日に悪化し、農業振興と併せて、商工業の景気の浮揚が強く叫

ばれる時ではないでしょうか。民間ではリストラが行われ、毎日の様に職場を失う人達が増えています。

公務員と民間の格差が開く一方です。我があさぎり町ではどうでしょうか。先日の新潟地震では村ごと移転と言ったところもありました。その様な現状を見ると、

自分達の住んでいる地域がいかに平和であるかと思わずにはいられません。現在の構造的な不況を打開する事は出来ないものでしょうか。いまこそ議会を中心として、少しでも景気が浮揚する様に企業等の誘致を図り、若い人達の雇用の場を作れば、商工業にも明るさが見えてくるのではないのでしょうか。

不況の時こそリーダーの手腕が問われます。

高齢化社会が進んでいく一方で、生活水準は向上し、毎日の家計を圧迫している中で住民の皆様の努力で、現在のあさぎり町が成り立

っていると言っても過言ではありません。  
こんな時だからこそ住民の先頭に立って、少しでも早く不況を打開すべく、その舵取りを行ってほしいと願うばかりです。

### 表紙の説明

(どんどや)

平成17年1月9日午前9時から、須恵地区中島親水公園において、須恵小学校PTA主催と各種団体の共賛による『どんどや』が開催され、神事の後点火され、勢い良く炎が燃え上がり、百数十名の参加者から歓声が上がりました。

『どんど焼き』とも言われ正月の15日に孟宗竹とカシの木を立て、正月の飾り物を燃やし、餅を焼いて食べると無病息災が成就出来るなどの言い伝えがあります。

## 編集後記

町民の皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えの事とお慶びを申し上げます。

昨年は、度重なる台風の襲来で甚大な被害を受けられ、心からお見舞いを申し上げます。又、新潟中越地震や、スマトラ沖地震による大津波など、自然災害の怖さを改めて自覚させられた一年でした。今年こそは、災害の無い実り多き年でありませ様に御祈念致したいと思います。

私達も改選後九ヶ月を迎え、責任の重大さを痛感し、職責を果たすべく日夜取り組んでおります。

広報調査特別委員会では、皆様方への適確な情報発信と分かりやすい広報紙づくりに努めております。

一般質問の内容については、限られたスペースの中で、全ての内容を記載できない面もありますので、御容赦頂きたいと思っております。是非熟読いただきまして、皆様方からの御意見をお聞かせ下さい。

奥田 公人